

12月の園だより

富士山の初冠雪

今年は寒さが遅れているとのこと。富士山の初冠雪が統計始まって以来130年間で最も遅い記録だそうです。例年だと10月の初旬に初冠雪が多いようですが、暖かくて10月は半袖シャツでまだ大丈夫なほどの気温が多かったですよね。ようやく初冠雪の発表があったのが11月7日でした。それから雪が見えなくなったりもしましたが、今は毎日富士山の上に白く雪があり、季節が移ってきていることを感じますね。



経験の力

先日、幼児が干なり瓜を刻んで塩もみにして食べました。後日、園を訪れた人が干なり瓜を見てどうやって食べるのかと聞くと、

「上のところを切って、ぐるぐるすると泡が出るんだよ。そしたら洗って薄く切って、袋に入れて塩を入れてぎゅっぎゅってやって、それから食べるんだよ」

と、どういうふうに調理して食べたかを言葉で説明してくれていました。聞いていた人が「みんな良くわかっているね」と言っていました。一緒に聞いていた私もそう思いました。経験したからこそ相手に伝える言葉もちゃんと出てきている。経験の強さを思いました。物事を順序だてて理解して伝えることや、科学的な要素もしっかり入っています。

4つの干なり瓜を塩もみにしたと話してもいたので、数のことも含まれます。経験、自分の身体でやってみたことはちゃんと学ばれているんだと感心しました。今は干なり瓜が本当に干個なるのか収穫数を紙に記録して見えています。



ポニー

今年2回目のポニーが来ました。乳児の時から乗馬をしてきているからか、4.5歳児はすっかり慣れた感じに乗っていました。乳児でも1回目は泣いたけど、2回目は自分で姿勢を保って乗っていた姿が見られました。

エヘガザルのげんにいと話していたら、先日、芝富小学校に行ったとのこと。上手に乗る子がいるなーと思っていたら「私、こども園の時に乗ったことがある」「名前はテラとラッキー」と教えてくれ、今2年生の卒園児だったとわかりました。

園にポニーが来て乗馬して、触ったりエサをあげたりしてきたことが、大きくなっても怖がることなく接せられていて嬉しいなあと思いました。テラとラッキーの毛はふわふわして暖かく、優しくなでている子どもの表情はみんな優しかったです。



バス遠足(日本平動物園)

今年はバス遠足を11月に行いました。(コロナ後バスの台数が減ったりしたため)

天気も良くなり、遠足日和になりました。1つの動物をじっくり見る子、地図を見て全部の動物を見て回っている子、気になった動物のところをゆっくり見て次に進む子など、子どもによって見方も色々でした。また年齢によっても見方やペースも変わっていくようでした。

お家の方と一緒に子どもには安心して過ごせる遠足だったと思います。朝はお弁当を作って、動物園では子ども達と一緒に見てませって、お家の方お疲れさまでした。

